

80  
75  
70  
65  
60

第三號

勸善懲惡 錦面圖解

大坂第一大區一

小區拾九番地入江平助

養女おきつと江音端

舞の

指南を

養父母をややみ浮らさふ引こ心平

孝心厚きうのかり然るふ養父平助を心そくよりいぢ養女

おきつ心を掛けて度くつひれどいらぬてしつ消れ此上

妻を去りて思ひを遂んとて是とつれをひらき妻をも生國並州廣しへて一亦も養

女とて向ひ夜とく日とく責め口説き心随ふを憤りて打擲し及少度々

をれど近所隣にも聞つけ何とばやとあむれを我が子と聞ぬ故と一向平氣

平助道にけりあつひ小き女の孝女もつれを此上を養母へ孝を尽さ外

アとしてける夜則おきつおして家を出則の軒お提灯をつりてきて猶内よりこみ小

ちり涙から小只獨りねぬ旅路と多くと狭州廣嶋かちのゆき覚えたる三味

線と身過ぎりて養母をややくん

時習舎

庵画



出版所

藤井時習舎